

八重山採集旅行記

1992年6月9日～17日

福井丈嗣

6月9日 大阪から与那国島へ

8時10分、JAL911便、B747ジャンボ機は定刻通り大阪空港を離陸しました。1984年に続き、2回目の八重山採集旅行の始まりです。

今回の同行者は、先輩の木下賢司氏です。彼は昨年の会社の永年勤続の沖縄旅行から南の島の魅力に取りつかれ、今回の採集旅行となったわけですが、その意気込みは大変なものでした。石垣空港での待ち時間にさえ、ターミナル前の荒れ地で早速ネットを取り出し、タテハモドキ、アオタテハモドキ、シルビアシジミを追いかけておられたほどです。また、この採集のために、重たくなるほどの三角紙を用意されたとか。

那覇、石垣と乗り継ぎ、与那国空港に着いたのは14時55分でした。与那国への飛行機は前回と違い、DHCからYS11に変わり、空港ターミナルも大きくきれいに改築されていました。

宿に電話して荷物を取りに来てもらい、空港付近から早速採集を始めることにしました。センダングサで、はりねずみになりながら歩き回っても、タテハモドキ程度しかおらず、精糖工場付近まで来てやつといろいろな蝶に巡り合うことができました。ツマベニチョウは力強く高いところを飛び、オオゴマダラがふわふわ舞い、8年前にはそんなに多くなかったタイワンシロチョウも数を増し、あちこちに飛んでいます。最近土着したといわれるクロテンシロチョウも、弱々しく飛んでいます。そこそこ採集したところで、明日に備え早めに宿に入り、休むことにしました。

6月10日 与那国島で採集

与那国ホンダでバイクを借りました。木下さんはバイクの自信がないとかでレンタサイクルにされました。小さな島とはいえ、東西10kmもあり、多少の高低もある島での採集は、いかにバイタリティーにとんだ木下さんでもきついのではと心配です。まずは、二人で昨日の精糖工場前に行ってみました。昨日にも増し

てたくさんの蝶が舞っています。ここでタイワンモンシロチョウ、ベニモンアゲハを採集し、テンダバナ付近で粘ってみると木下さんと別れ、宇良部岳へ向かいました。

借りたときからバイクの馬力が弱いのは感じていましたが、登りにかかるときめんにそれが出てきました、だましだまし乗って行くと、どうどう動かなくなってしまい、バイクを捨てて歩いて登ることにしました。道の周りのセンダングサにいろいろな蝶が来ています。リュウキュウアサギマダラに混ざって、これも最近土着したと思われるヒメアサギマダラもいます。ぽつぽつ採集しながら登っていくと、見慣れない蝶が吸蜜しています。初めはリュウキュウムラサキかと思いましたが、翅が細いように見えたので迷マダラではないかと思い、慎重にネットインすると、前翅が紫に光り、後翅に白い幾条もの線がある、見たことのない蝶でした。後で調べたところ、やはり迷マダラで、ピカピカのツマムラサキマダラの♀でした。

宇良部岳の頂上では最近ホリシャルリシジミが採れたという情報があったため、少し粘ってみましたが空振りに終わりました。

その後、アオタテハモドキを探りに東崎に向かい、牧場の中でのんびりとし、今日の採集を終了しました。

6月11日 与那国島で採集後、石垣島へ

馬力不足のバイクを交換し、今日は比川、久部良方面に向かうことにしました。比川林道でまた迷マダラらしきものを見ましたが、今度はブッシュの中にもぐり込まれて失敗しました。

久部良の西崎で2度目の日本最西端に立ち、満田原林道、テンダバナと採集しながら昼頃に祖納に帰ってきました。

タイワンシロチョウ、ヒメアサギマダラ、クロテンシロチョウなど、目的はほぼ達成したので、戦利品を“ゆうパック”で自宅へ送り、15時10分の便で石垣へ向かうことにしました。ところが本日天候がやや荒れ模様で、地に着いたものしか信用できない二人（二人とも列車の運転士）は、横風にあおられ、態勢を立て直しながら着陸しようとする飛行機に、肝を冷やし、パニック状態。おまけに窓際の席だったので見える滑走路が右へ左へ。おそらく顔面蒼白で頬は引きつっていたに違いありません。無事着陸したときには、二人して胸をなでおろしたもの

です。

6月12日 石垣島から西表島へ、西表島で採集

石垣の宿を後にし、8時の高速艇で西表島へ向かいました。やや高い波を突っ切りながら、竹富島をかすめ、40分で大原港に接岸しました。

宿に荷物を起き、レンタカーを借り仲間川林道に向かいました。サトウキビの畑の中を通り、林道の入り口に車を置きました。林道に入った途端、黄色のじゅうたんが現れました。タイワンキチョウの吸水です。カラスアゲハも多く舞っています。採集しながら奥へと進みましたが、蝶影はあまり濃くありません。しかし、八重山が初めての木下さんは何もかもが初物で、片っ端からネットに納め、三角紙に包むのが忙しそうです。それでもジャノメ類、セセリ類などを採集しながら仲間川を見下ろす展望台の少し先まで行ってみましたが、めぼしいものは採れません。ほしかったリュウキュウウラボシシジミも3頭のみでした。

西表島の宿は大原の南風荘でした。食事の時に、但馬むしの会のメンバー谷角、黒井、前平氏の名前の色紙を見つけ懐かしく思いました。

6月13日 西表島で採集

今日の第一の目的はタイワンキマダラで、一路、浦内の月ヶ浜へ車を走らせました。途中、古見の手前で先行の車が停止し、人だかりがしています。こちらも止めて何かと見ると、蛇がとぐろを巻いています。ハブかと思いましたがどうも違うようです。本土のアオダイショウよりはるかに大きい。聞くところによるとサキシマスジオウというニシキヘビの仲間だそうです。毒がないとわかると、早速木下カメラマンの登場。逃げる蛇を追いかけサトウキビの畑まで侵入、撮影に夢中でした。

月ヶ浜の海に向かう道路に車を止め、タイワンキマダラをねらいましたが、どうも効率があがりません。思い切って林の中に入ってみました。本土と違って見なれぬ草が生い茂っていて気持ちがよくありませんが、開けたところに蝶がいて結構収穫がありました。適当なところで道に出てびっくり、そこには車に轢かれたサキシマハブの死体。

そぞこの収穫で白浜に向かいました。前回に比べ学校は大きくなっているし、様子が変わっているようです。二人でテツイロビロードセセリ3頭を採集して、

白浜林道に向かいました。林道では少し入った所でヤエヤマイチモンジがテリトリーやはっているくらいで何もいません。ヤエイチがほしいので少し粘りましたが、なかなか降りてきません。それでも3頭ほど採って次に向かいました。祖納の竹やぶのシロオビヒカゲもやはり少なく、すごすごと撤退。時間もなくなり、大原の宿に帰還しました。

6月14日 西表島から石垣島へ移動、竹富島で採集

もう少し西表島で粘り、カンピラの滝方面に行くという木下さんと別れ、8時50分の高速艇で石垣に帰りました。ここから木下さんとは帰るまで別行動です。私にはまだ次の目標があります。木下さんはすでに十数年前に手に入れておられる、アカボシゴマダラです。私の最終目的地は、奄美大島なのです。

石垣に着き、一旦、宿に荷を置き11時の船で竹富島に渡りました。

竹富島は相変わらず蝶の多い島です。シロオビアゲハ、ジャコウアゲハがぶんぶん飛んでいます。上陸してすぐ、墓地の近くでまた迷マダラを採集しました。今度はマルバネルリマダラの♀です。気をよくしてどんどんと集落の方へ向かっていきました。ねらっていたカバタテハはあまり採れませんでした。リュウキュウムラサキやウスキシロチョウを探りながら歩いていると、民芸館に出ました。ここにはクチナシの木があり、たくさんの実を付けていました。見ると実には穴が開いており、これがイワカワシジミの食痕と直感し、民芸館の人に断って大きな穴を開いた実だけを持ち帰りました。これにはたいてい蛹が入っていて、帰つてからピカピカの成虫が羽化しました。

6月15日 石垣島で採集後、那覇経由奄美大島へ

今日は午後の便で沖縄へ行かねばなりません。時間が余りないので、近くのバンナ岳方面に行くことにしました。

八重守の塔までタクシーで行き、バンナスカイラインを登りかけましたが、車がどんどんと登ってくるので嫌気がさし、反対側の万勢林道に転戦することにしました。

林道を少し入ると二手に分かれ、左の道をとるとやがて諸車通行止めのバリケードがあり、車が入って来る心配もなくなり、ゆっくりと採集が楽しめました。ここには西表島であれほど採れなかったヤエヤマイチモンジが乱舞しています。

ナミエシロチョウも舞い、コノハチョウも姿を見せてくれました。

今日の成果に満足し、15時10分、石垣空港を後にし、沖縄那覇へと向かいました。旅行の効率をよくするため、ここから船を使い奄美大島に渡ります。寝ている間に名瀬港まで連れていってくれます。

那覇には三つの港があるようです。那覇空港から乗ったタクシーに那覇新港と告げたのに、連れていかれたのは那覇港でした。いくら捜しても私の乗る船がありません。やっと間違いに気づき、あわてて那覇新港に急ぎました。

18時、大阪南港行きの関西汽船フェリー“くろしお”は、次の寄港地、奄美大島名瀬港へ向け出港して行きました。大きな船なのに乗客は十数人、船で働いている人数の方が多い状態で、こんなんで儲かるのかなといらぬ心配をするほどです。飛行機運賃の約半額で、時間と友達があればこんな旅もいいものなのでしょう。学生の休みの期間は、案外混雑しているのかもしれません。しかし、今は十畳程もある二等船室を一人一人が占領し、テレビも独占です。

船舶電話で、石垣島に泊まっておられる木下さんに連絡をとりました。異常なまでにヤエヤマイチモンジに執念を燃やす木下さんに、今日の成果を報告するために。それにしても、この電話料金の高さはなんだ、105度のテレホンカードが瞬く間になくなりました。

後で聞くところによると、木下さんは、万勢林道でヤエヤマイチモンジを三桁採ったそうです。

6月16日 奄美大島で採集

5時20分、名瀬港に接岸です。梅雨前線の真っ只中で、空はどんよりと曇り、先ほどまで雨が降っていた模様です。

朝早いのでどこへ行くこともできず、待合室で8時頃まで仮眠しました。

名瀬市内には拝山と、らんかん山の二つの採集地があるそうです。まず拝山に行ってみることにしました。名瀬港から見て、町の向こうに見える山がそのようです。名瀬市内を横切り、登ってみました。きれいに整備された公園です。気温もまだあまり上がりず、蝶の影もありません。1頭だけ、それらしきものを見たけれど、すぐ見えなくなりました。しばらく待ってみましたがあきらめて、とりあえず旅館に入ることにしました。

港に近い入船町の宿に荷を置き、裏山のらんかん山に行ってみました。この山

は以前に血液輸送の飛行機が墜落して13名の犠牲者をだした所だそうで、記念碑にはその飛行機の車輪が埋め込んでありました。先ほどの拝山と比べ道も細く、小さな公園です。

いました、アカボシゴマダラのようです。高い木の周りをぐるぐると回っています。まるでアサギマダラのような飛び方です。なかなか下に降りてきません。たまに降りてきても焦って失敗の繰り返しです。やっとのことで1♂をネットイン。少し破れていますが、紛れもなく念願のアカボシゴマダラです。

やがて心配した雨が降ってきました。公園の中の東屋で休みながら雨のやむのを待ちます。雨がやむと、どこからともなく飛び出すけれど、なかなか採れません。やっとのことで3♂1♀を採集。ネットもびしょ濡れです。雨さえ降らねば成果はあがるのに、うらめしいのは梅雨前線。午後からは雨も切れ目なく、やむなく宿で休息。明日に期待します。

6月17日 奄美大島から大阪へ

梅雨前線は相変わらず停滞。降水確率100%。外を見れば雨はシトシトと切れ目なく降り続いている。迷ったけれど、あきらめて帰ることに決めました。

飛行機の予約を変更し、9時のバスで奄美空港へ。搭乗手続を済ますと、明日はJASがストライキとのこと。一日早めて正解でした。

10時45分、天候不良で20分遅れのJAS772便は、雨に煙る奄美空港を一路大阪空港に向かって飛び立ちました。

これで今回の採集旅行は終わりです。あとにはたくさんの残務整理（展翅）が待っています。当分忙しい日が続きそうです。

[今回の採集種と採集地]

【アゲハチョウ科】 5種

- ジャコウアゲハ（与那国、西表、竹富島）
- ベニモンアゲハ（与那国、竹富島）
- シロオビアゲハ（竹富島）
- クロアゲハ（与那国、石垣島）
- カラスアゲハ（与那国島）

【シロチョウ科】 9種

- ウラナミシロチョウ (竹富島)
- ウスキシロチョウ (与那国, 西表, 竹富島)
- キチョウ (与那国島)
- タイワンキチョウ (西表島)
- ナミエシロチョウ (与那国, 西表, 石垣島)
- タイワンシロチョウ (与那国, 竹富島)
- タイワンモンシロチョウ (与那国島)
- クロテンシロチョウ (与那国島)
- ツマベニチョウ (与那国島)

【シジミチョウ科】 7種

- イワカワシジミ (竹富島 ※ 蟸で採集)
- アマミウラナミシジミ (与那国, 西表島)
- ルリウラナミシジミ (与那国島)
- シルビアシジミ (石垣島)
- タイワンクロボシシジミ (与那国, 西表島)
- リュウキュウウラボシシジミ (西表島)
- ヤマトシジミ (与那国島)

【マダラチョウ科】 6種

- スジグロカバマダラ (与那国島)
- オオゴマダラ (与那国, 竹富島)
- リュウキュウアサギマダラ (与那国, 西表島)
- ヒメアサギマダラ (与那国島)
- マルバネルリマダラ (竹富島)
- ツマムラサキマダラ (与那国島)

【タテハチョウ科】 12種

- タイワンキマダラ (西表島)
- カバタテハ (竹富島)

- シロミスジ（与那国島）
- ヤエヤマイチモンジ（西表，石垣島）
- リュウキュウミスジ（与那国，西表，石垣島）
- ルリタテハ（与那国島）
- アオタテハモドキ（与那国，竹富，石垣島）
- タテハモドキ（与那国島）
- リュウキュウムラサキ（与那国，竹富，石垣島）
- コノハチョウ（西表，石垣島 ※観察）
- イシガケチョウ（与那国，西表島）
- アカボシゴマダラ（奄美大島）

【ジャノメチョウ科】 3種

- マサキウラナミジャノメ（西表島）
- シロオビヒカゲ（西表島）
- リュウキュウヒメジャノメ（西表島）

【セセリチョウ科】 6種

- コウトウシロシタセセリ（西表，石垣島）
- タイワンアオバセセリ（与那国，竹富島）
- オオシロモンセセリ（与那国島）
- ユウレイセセリ（与那国，石垣島）
- クロセセリ（与那国，西表島）
- テツイロビロードセセリ（西表島）